

横地康子 ソプラノリサイタル

～第1部～

初恋 ～越谷達之助
からたちの花 ～山田耕作
アヴェ・マリア ～グノー
オンブラ・マイ・フ ～ヘンデル
約束 ～ロッシーニ
母が教え給いし歌 ～ドヴォルザーク

ロッシーニ オペラ「セビリヤの理髪師」より
“今の歌声は”

モーツァルト オペラ「フィガロの結婚」より
“あの楽しい思い出はどこに”

ヴェルディ オペラ「イル・トロヴァトーレ」より
“穏やかな夜に”

プッチーニ オペラ「トゥーランドット」より
“氷のような姫君の心も”

ペルゴレージ 「スタバト・マーテル」より
第9曲 “ああ、聖母よ” Sop. 横地康子 Alt. 小池啓子
ピアノ 山家寿子 臼居 基



～第2部～

モーツァルト 荘厳ミサ ハ長調 KV337

指揮 坂井雅澄 ピアノ 臼居 基

横地康子 小池啓子 田辺一郎 柚木久忠

合唱 関東学院創立125周年記念 祝祭合唱団有志(賛助出演)

関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」(賛助出演)

2010 1.9(土) 13:30 開場 14時開演
入場料 2000円

逗子文化プラザ なぎさホール

■後援 関東学院六葉会
(関東学院六浦中学校・高等学校 同窓会)
関東学院逗葉六葉会

■主催 TEL 045-372-5038 横地
TEL 090-6343-0166 加藤

横地康子

ソプラノリサイタル

2010

1.9 (土)

14 時開演

逗子文化プラザ
なぎさホール



■後援 関東学院六葉会
(関東学院六浦中学校・高等学校同窓会)
関東学院逗葉六葉会

■主催 関東学院創立125周年記念
祝祭合唱団三春台グループ

横地康子

ソプラノリサイタル

2010年1月9日(土)

開場：13:30 開演：14:00

逗子文化プラザ なぎさホール

全席自由 2000円

ロッシーニ “今の歌声は” オペラ「セビリアの理髪師」

ロッシーニはイタリア・オペラの中興の祖といえる作曲家で、殊に喜劇的な内容のオペラ・ブッファで成功をした。そのロッシーニの代表作で、ボーマルシェのドラマを原作にした傑作がオペラ「セビリアの理髪師」である。このアリアはヒロインのロジーナが第一幕で歌うもので、リンドーロという名の学生と偽っているアルマヴィーヴァ伯爵の歌声を聞き、胸のときめきとあの人を絶対に私のものにするという気持ちを歌う。オペラの中では木長調であるが、ソプラノのコンサートアリアとして多彩なカデンツァをつけ、へ長調で歌われることがある。

少し前のあの声が、
この胸の中で再び鳴り響いた。
私の心にはもう愛が芽生えた。
そして、それを芽生えさせたのはリンドーロ
そう、リンドーロは私のものになるわ。
そう誓ったの、だからそうなるわ。
後見人は受け入れないでしょうけれど、
私は知恵を絞るの。
最後には彼も気を落ち着け、
私は満ち足りた気持ちになるでしょう。
そう、リンドーロは私のものになるわ。
そう誓ったわ、だからきっとそうなるの。
私は素直で人間を尊重しているわ。
私は従順で優しく、愛らしく、
人の指図のまま、人の言うまま。
でも、もし誰かが私の弱みに触れるなら、
私はマムシになって百のわなを、
私が屈する前に仕掛けるでしょう。

モーツァルト “あの楽しい思い出はどこに” オペラ「フィガロの結婚」

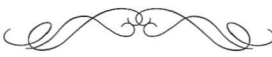
作曲家としてあまりにも有名なモーツァルトの代表作であり、古今東西のオペラの中でも最高傑作のひとつである「フィガロの結婚」。原作はボーマルシェの「セビリアの理髪師」の続編である。このアリアは第三幕でアルマヴィーヴァ伯爵夫人となったロジーナが歌うもの。夫の浮気

をたしなめるため侍女のスザンナと衣装を替えて逢引する手筈を整えたものの、不安な気持ちを歌う。

スザンナは来ないわ！伯爵が申し出を、
どのように受け入れたか心配だわ。
大胆すぎたかしら…
あんなに頭の回転が速くて、
しかも嫉妬深い夫には…
でも、どこが悪いのかしら？
私とスザンナの洋服を取り替えて、
夜のとばりに紛れ…
ああ、神様！私は何と…
不実と嫉妬と軽蔑が途方も無く
入り混じったつれない夫のために。
はじめは愛され、やがて侮辱され、
最後に裏切られ、
今では小間使いの助けまで求めるなんて！
甘く楽しかった美しい日々は、
どこに行ってしまったの？
どこに行ってしまったのかしら？
あの嘘つきの唇から出た誓いの言葉は？
涙と苦しみの中で私にとって、
すべてが変わってしまったのに、
なぜあの幸せな思い出は
私の胸から去らないのでしょうか？
ああ、苦しみの中にあっても常に愛する
私の一途さがせめてあの情知らずの
心を変えてはくれないものかしら！

ヴェルディ “穏やかな夜に” オペラ「イル・トロヴァトーレ」

イタリア・オペラ最高最大の作曲家のひとり、ヴェルディの中期の傑作「イル・トロヴァトーレ」。1853年にローマのアポロ劇場で初演され大成功をおさめた。このアリアは第一幕でヒロインのレオノーラによって歌われる。夜更けに宮殿の庭へ出てきたレオノーラは、見知らぬトロヴァトーレ（吟遊詩人）を愛するようになった経緯を侍女のイネスに話して聞かせる。穏やかな前半とは対照的に、後半はトロヴァトーレへの死をも覚悟した愛を興奮のうちに歌う。



横地康子 ソプラノリサイタル



……PROGRAM……

第 1 部

初恋	石川啄木 作詞	越谷達之助 作曲
からたちの花	北原白秋 作詞	山田耕作 作曲
アヴェ・マリア	グノー 作曲	
オンブラ・マイ・フ	ヘンデル 作曲	
約束	ロッシーニ 作曲	
母が教え給いし歌	ドヴォルザーク 作曲	



ロッシーニ オペラ「セビリアの理髪師」より “今の歌声は”
モーツァルト オペラ「フィガロの結婚」より “あの楽しい思い出はどこに”
ヴェルディ オペラ「イル・トロヴァトーレ」より “穏やかな夜に”
プッチーニ オペラ「トゥーランドット」より “氷のような姫君の心も”
ペルゴレージ 「スタバト・マーテル」より “第9曲 “ああ、聖母よ”

ソプラノ：横地康子 アルト：小池啓子 ピアノ：山家寿子

～ 休 憩 ～

第 2 部

モーツァルト 荘厳ミサ ハ長調 KV337

指 揮：坂井雅澄

ピアノ：白居 基

ソプラノ：横地康子 アルト：小池啓子 テノール：田辺一郎 バス：柚木久忠

合唱：関東学院創立125周年記念 祝祭合唱団有志

関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」

ロッシーニ "今の歌声は" オペラ「セビリアの理髪師」

ロッシーニはイタリア・オペラの中興の祖といえる作曲家で、殊に喜劇的な内容のオペラ・ブッファで成功をした。そのロッシーニの代表作で、ボーマルシェのドラマを原作にした傑作がオペラ「セビリアの理髪師」である。このアリアはヒロインのロジーナが第一幕で歌うもので、リンドーロという名の学生と偽っているアルマヴィーヴァ伯爵の歌声を聞き、胸のときめきとあの人を絶対に私のものにするという気持ちを歌う。オペラの中ではホ長調であるが、ソプラノのコンサートアリアとして多彩なカデンツァをつけ、ヘ長調で歌われることがある。

訳 | 少し前のあの声が、
この胸の中で再び鳴り響いた。
私の心にはもう愛が芽生えた。
そして、それを芽生えさせたのはリンドーロ
そう、リンドーロは私のものになるわ。
そう誓ったの、だからそうなるわ。
後見人は受け入れないでしょうけれど、
私は知恵を絞るの。
最後には彼も気を落ち着け、
私は満ち足りた気持ちになるでしょう。
そう、リンドーロは私のものになるわ。
そう誓ったわ、だからきっとそうなるの。
私は素直で人間を尊重しているわ。
私は従順で優しく、愛らしく、
人の指図のまま、人の言うまま。
でも、もし誰かが私の弱みに触れるなら、
私はマムシになって百のわなを、
私が屈する前に仕掛けるでしょう。

モーツァルト "あの楽しい思い出はどこに" オペラ「フィガロの結婚」

作曲家としてあまりにも有名なモーツァルトの代表作であり、古今東西のオペラの中でも最高傑作のひとつである「フィガロの結婚」。原作はボーマルシェの「セビリアの理髪師」の続編である。このアリアは第三幕でアルマヴィーヴァ伯爵夫人となったロジーナが歌うもの。夫の浮気

をたしなめるため侍女のスザンナと衣装を替えて逢引する手筈を整えたものの、不安な気持ちを歌う。

訳 | スザンナは来ないわ！伯爵が申し出を、
どのように受け入れたか心配だわ。
大胆すぎたかしら・・・
あんなに頭の回転が速くて、
しかも嫉妬深い夫には・・・
でも、どこが悪いのかしら？
私とスザンナの洋服を取り替えて、
夜のとばりに紛れ・・・
ああ、神様！私は何と・・・
不実と嫉妬と軽蔑が途方も無く
入り混じったつれない夫のために。
はじめは愛され、やがて侮辱され、
最後に裏切られ、
今では小間使いの助けまで求めるなんて！
甘く楽しかった美しい日々は、
どこに行ってしまったの？
どこに行ってしまったのかしら？
あの嘘つきの唇から出た誓いの言葉は？
涙と苦しみの中で私にとって、
すべてが変わってしまったのに、
なぜあの幸せな思い出は
私の胸から去らないのでしょうか？
ああ、苦しみの中にあっても常に愛する
私の一途さがせめてあの情知らずの
心を変えてはくれないものかしら！

ヴェルディ "穏やかな夜に" オペラ「イル・トロヴァトーレ」

イタリア・オペラ最高最大の作曲家のひとり、ヴェルディの中期の傑作「イル・トロヴァトーレ」。1853年にローマのアポロ劇場で初演され大成功をおさめた。このアリアは第一幕でヒロインのレオノーラによって歌われる。夜更けに宮殿の庭へ出てきたレオノーラは、見知らぬトロヴァトーレ（吟遊詩人）を愛するようになった経緯を侍女のイネスに話して聞かせる。穏やかな前半とは対照的に、後半はトロヴァトーレへの死をも覚悟した愛を興奮のうちに歌う。

訳

穏やかな夜は静まり
そして曇りのない空に月が美しく
銀色のおもてを丸く見せていました。
そのとき、あたりに響くのが…
それまではほんとに静まり返っていたのに…
聞こえました…
甘く悲しいリユートの調べが。
そして哀愁こもる詩を
一人の吟遊詩人がうたったのです。
神に祈る人のものにも似た
慎ましい祈祷のような詩
その中で繰り返されていました
ある名前が…私の名前が…
急ぎ露台へ駆け寄ると
あのお方でした、他ならぬあのお方でした！
私は喜びをおぼえました。
天使たちにだけ味わうことが許される喜びを
忘我の境の心にも目にも
この世はさながら天国のようでした！
そんな愛に…言うなど…
とても言葉にできない愛に
この心は酔いしれました！
私の運命は、成就するには
あの方のおそばでなければできません…
私は、あの方のために生きるのではありません
あの方のために死ぬでしょう！
ああ！そうです！

プッチーニ “氷のような姫君の心も” オペラ「トゥーランドット」

ヴェルディ以降のオペラの大家といえばやはりプッチーニ。作品の数はヴェルディほど多くはないが、ほとんどの作品が現在でも上演されている。そのプッチーニの最後のオペラ「トゥーランドット」。このリユートのアリアまで作曲してプッチーニは亡くなってしまった。元ダッタン王国王ティムールの息子カラフは、トゥーランドット姫のかける謎を見事に解き花婿になる権利を得るが、逆に「私の名を解き明かすなら命をささげよう」と姫に告げる。ティムールの女奴隷リユートは王子の名を明かせと拷問されるが、このアリアを絶唱したあと兵士の剣を奪い取って自殺する。

訳

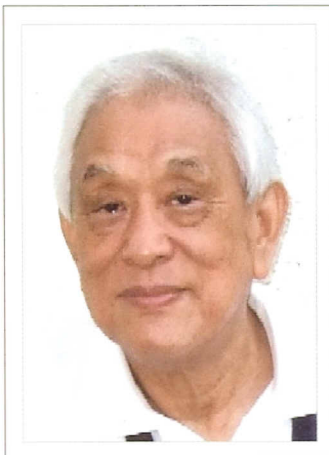
氷に包まれたあなた様も熱い炎に
負かされてあの人を愛するでしょう。
身も心も疲れ果てた私は
夜明け前にこの目を閉じるのです。
あの方が再び勝つのを
もう見ないですむように。
ただそのためだけに目を閉じるのです。

ペルゴレージ スタバト・マーテルより 第9曲

わずか26歳でこの世を去ったペルゴレージが、その生涯の最後に書き残した作品が「スタバト・マーテル」である。十字架のもとにたたずむ、悲しみに沈む聖母マリアへの賛美と祈りを綴ったラテン語詩「スタバト・マーテル」は、18世紀にはローマ教会の公式典礼に採用され、数多くの音楽家によって作曲された。第9曲の動きの多いフレーズは快活さを感じさせるものであり、聖母マリアの優美さを音楽に秘めている。祈りの言葉は、我々が強く成長するために十字架の苦しみを共感させて下さいと祈る。

モーツァルト 荘厳ミサ ハ長調 KV337

モーツァルトのザルツブルク時代の最後のミサ曲にあたる。KV317「戴冠式ミサ」のちょうど一年後の作品。規模の点ではミサ・プレヴィスのスタイルで、「グロリア」「クレド」の章が比較的簡略に書かれているが、祝祭的な典礼の性格とそれに合わせた編成によって質の点で豊かな響きのミサ曲となり「ミサ・ソレムニス」と呼ばれている。このミサ曲で特筆すべきは「ベネディクトゥス」と「アニュス・デイ」の二つの章である。普通の場合美しい独唱が主体となる「ベネディクトゥス」を主に対位法書法に委ね、そのあとの「アニュス・デイ」に華やかなソプラノ独唱をおいている。この曲の旋律はオペラ「フィガロの結婚」の伯爵夫人のカヴァティーナ「愛の神よ、みそなわせ」の冒頭旋律に似て、曲は明るく進んでいく。全ミサ曲を閉じるのが独唱四部であることも異例である。



輝く声、いつまでも！

坂井 雅澄

「先生！わたし音大に進みたいです！」…受験も迫った12月のある日、グリーの吉田(旧姓)が突然言い出した。高三になっても引退もしないで、毎日合唱練習に真っ先に来て後輩を引っ張ってきた歌の大好きな子が「なぜ？今になって？」…聞くと、親御さんは2月の薬科大の受験に受かるのが条件。浪人はだめ。薬科大合格発表から3月中旬の受験までの準備期間はひと月。時間がない！…私は、私の恩師に相談の末、とっくの昔に練習をやめちゃったピアノと聴音を私の友人を総動員してレッスンに通わせ、受験曲の練習・楽典・コンコーネ・コールユーブンゲンとは私と、ひと月はあっという間に過ぎた。結果、音大合格。無事入学してからは、素晴らしい先生方に恵まれその歌の才能を磨くことができ、多くの舞台で活躍している姿を見るのは、教師冥利に尽きることこの上ないものでした。昨年・今年と一年半に亘って行われた関東学院創立125周年記念祝祭合唱団に於いては、その叙情的で輝くようなリリコ・ソプラノの声で80人の合唱団員を素晴らしいモーツァルトの世界に導いてくれました。近年は後進の指導にも意欲を燃やし、合唱指揮者としても、ますますその活躍の幅が拡がり、これからが楽しみです。

本日のモーツァルトの荘厳ミサはプロになってから初めて、私との共演になります。みなさま、どうかお楽しみください。

坂井雅澄(指揮)

横浜国立大学卒業。東京芸術大学声楽科委託生修了。前田幸市郎、奥田良三、大築邦雄、村山弘也の各氏に師事。関東学院六浦中学校・高等学校教諭、関東学院女子短期大学講師、横浜国立大学講師などのほか、鎌倉コールなど合唱団指導に取り組んでいる。JCDA日本合唱指揮者協会会員、かながわ合唱指揮者クラブ顧問。



横地康子

関東学院六浦中学校・高等学校にて坂井雅澄氏に師事。昭和音楽大学音楽学部声楽学科卒業。砂原美智子氏・持木文子氏に師事。二期会歌手基礎コース修了後、イタリアへ短期留学。声楽リサイタル・合唱ソロ等の演奏活動の傍ら、声楽指導・合唱指揮者となり、横浜市都筑区北山田にて「ゴスペル講座」指導・指揮、関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」常任指揮者。二期会マミーシンガーズ オペラ「フィガロの結婚」客演ほか。音楽事務所「ムジカリタ」所属。朝日カルチャーセンター講師。

小池啓子(アルト)

関東学院六浦中学校・高等学校にて坂井雅澄氏に師事。横浜国立大学教育学部音楽科乙類(中学校課程)卒業。在学中は奥田良三氏、宮本和子氏に師事。現在は流山にて演奏活動の傍ら合唱のグループの指導にもあたっている。

田辺一郎(テノール)

関東学院大学工学部建築科卒業。在学中グリークラブに所属しソリストとして活躍。合唱コンクールで優秀な成績をおさめる。卒業後、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」などさまざまな合唱経験を経て現在に至る。関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」トップテナーソリスト。

柚木久忠(バス)

関東学院大学経済学部経済学科卒業。在学中グリークラブに所属しソリストとして活躍。合唱コンクールで優秀な成績をおさめる。卒業後、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」ベートーヴェン「第九」などさまざまな合唱経験を経て現在に至る。関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」ベースソリスト。



山家寿子(ピアノ)

国立音楽大学音楽教育学部卒業。在学中、大石潤氏に師事。卒業後、持木文子氏のもとで多彩な声楽伴奏経験を積む。現在は演奏活動の傍ら後進の指導にもあたっている。



白居 基(ピアノ)

桐朋学園大学作曲科卒業。同研究科修了。作曲を末吉保雄氏に、ピアノを森安耀子氏に師事。在学中「第50回毎日音楽コンクール」作曲部門入選。

関東学院創立125周年記念祝祭合唱団 三春台グループ

2008年と2009年に行われた関東学院創立125周年記念祝祭コンサートのために結成された合唱団です。関東学院六浦中学校・高等学校グリークラブOB・OG、関東学院女子短期大学グリークラブOG、関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」メンバー、関東学院野庭幼稚園、関東学院小学校、関東学院六浦小学校、関東学院中学校・高等学校、関東学院六浦中学校・高等学校、関東学院大学の夫々の保護者・友人等で構成され、坂井雅澄先生のご指導のもと、たいへん楽しい雰囲気の中で、モーツァルトの「戴冠ミサK V 317」と「荘厳ミサK V 337」を歌いあげることが出来ました。この祝祭合唱団の練習の中で、常に輝かしい声で合唱団をリードされた横地康子さんに対する感謝の思いを込めて、10月7日の祝祭コンサート本番が終わった後も練習を重ね、本日の演奏会に賛助出演することになりました。

関東学院大学グリークラブOB合唱団「コーラ・オリヴァ」

関東学院グリークラブOBにより昭和37年に結成された男声合唱団です。結成以来団員指揮者のもとで、グリークラブ定期演奏会への賛助出演、神奈川県や横浜市の合唱祭、老人ホームの慰問などの活動をして参りましたが、昨年4月より横地康子さんを常任指揮者に迎え、活動の中も音楽の中も広がり、年末にはグリークラブ創立80周年記念演奏会を計画しています。

合唱メンバー表 (五十音順)

ソプラノ

秋元伸子 入江久枝 岩田康子 荻野智香子 菊島裕子 菊地典子 木下静枝
興津恭子 越石洋子 島津宏子 杉山まり 鈴木暁美 野村敦子 野村寛子
別府重子 守屋好代 溝田和子 溝田裕美子

アルト

赤澤麗子 飯島幸子 奥山愛子 奥山郁子 木村泰子 片山敦子 黒柳秀子
小島真規子 坂井暁子 篠田あや 菅沼晃子 鈴木紀子 関根きぬ子 谷澤トモ子
田村立子 藤田佳代 舟橋智子 本多佳子 丸山典子 吉川和子

テノール

飯田 傑 生方辰治 岡本宣幸 木村仁一 三枝康男
菅原 充 田中秀幸 舟橋彌舟 丸山正之

バス

石渡正則 伊東 武 太田光彦 岡田光晴 柿崎紀男 加藤 武 加藤英雄 小池正晴
小林真也 斎藤 猛 志澤榮治 高橋悌郎 永嶋孝彦 星野 真 山口勝利

演奏会スタッフ

企 画： 永嶋孝彦 加藤 武 野村寛子 吉川和子
アナウンス： 菅沼晃子
ステージマネージャー： 稲村 徹（横浜並木男声合唱団）
フロアスタッフ： 前田利重 松葉隼彦（横浜並木男声合唱団）
三枝正博 相原正二（コーラ・オリヴァ）
野村典子
調 律： 荒井加寿雄
ビデオ撮影： 大塚録音社
写 真 撮 影： （有）フォトマルシェ
印 刷： （有）多摩広芸社